

48期決算説明会資料 (2008年3月期)



新宿GIFT GATE (08年2月改装オープン)

株式会社サンリオIR室
TEL: 03-3779-8058
2008年5月21日

1. 2008/3月期 実績

2. 新中期経営計画 (2009/3-2011/3)

3. 2009/3月期 業績予想

4. 事業別説明

5. 参考資料

連結損益計算書

(単位:億円)

	08/3 実績	前期比			計画比		
		07/3期	増減額	増減率	期初計画	増減額	増減率
売上高	939	966	27	2.8%	970	30	3.2%
売上総利益	392	386	6	1.6%	398	5	1.3%
販管費	326	324	2	0.7%	327	0	0.2%
営業利益	66	62	3	6.3%	70	4	6.6%
営業外損益	13	6	7	-	9	3	-
経常利益	52	55	3	5.6%	61	8	13.7%
特別損益	10	3	14	-	5	5	-
税引前利益	41	59	17	30.1%	55	14	25.3%
法人税・法人税等調整額合計	30	18	12	69.0%	30	0	1.2%
当期純利益	11	41	30	73.1%	25	14	56.2%
売上総利益率	41.8%	40.0%	1.8%	-	41.0%	0.8%	-
営業利益率	7.0%	6.4%	0.6%	-	7.3%	0.3%	-
経常利益率	5.6%	5.8%	0.2%	-	6.3%	0.7%	-

前期比：減収2.8%を売上総利益率1.8%改善でカバーし営業増益6.3%。

純利益は特損(役員退職慰労金引当、投資有価証券評価損)と税効果によって73%の減益

事業別営業利益

(単位:億円)

		08年3月期 実績	前期比			計画比		
			07/3実績	増減額	増減率	計画	増減額	増減率
事業別営業 (直接)	国内物販	11	11	0	1.6%	10	0	6.1%
	国内ライセンス	74	83	9	11.1%	81	7	8.9%
	テーマパーク	8	2	11	—	5	3	—
	テーマパーク支援費用	2	7	5	—	2	0	—
	テーマパーク計	11	5	6	—	7	3	—
	海外	87	54	32	60.1%	82	4	5.1%
	その他	7	6	14	—	2	10	—
本社コストセンター 経費他		87	88	0	—	99	11	—
連結営業利益		66	62	3	6.3%	70	4	6.6%

前期比: 国内ライセンス、テーマパーク、その他事業の減益を海外の大幅増益でカバーし、3億円(6.3%)の営業増益。国内物販は、久方ぶりに増益(1.6%)。

1. 2008/3月期 実績

2. 新中期経営計画 (2009/3-2011/3)

3. 2009/3月期 業績予想

4. 事業別説明

5. 参考資料

新中期経営計画(Project2010)の骨子

➤ 安定した好収益基盤の構築

- ・ 店舗、商品戦略等見直しによる国内物販事業の収益性向上
- ・ 本部業務のアウトソース等による経費削減
- ・ 営業力強化等による海外事業の業容拡大
- ・ 海外ライセンス強化等によるテーマパーク事業の収益化

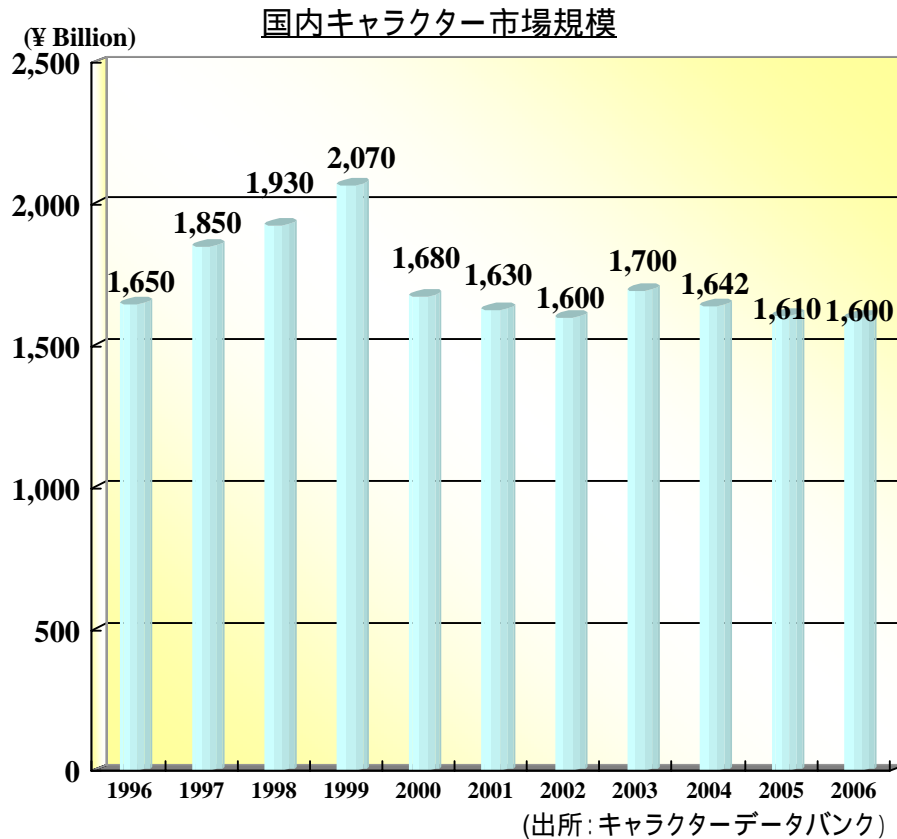
➤ 資本コストの削減

- ・ 資本準備金取崩しによる優先株償還のスピードアップ

国内キャラクター市場及び世界ライセンス市場

2007年ライセンス小売市場において世界ランキング8位

Sanrio



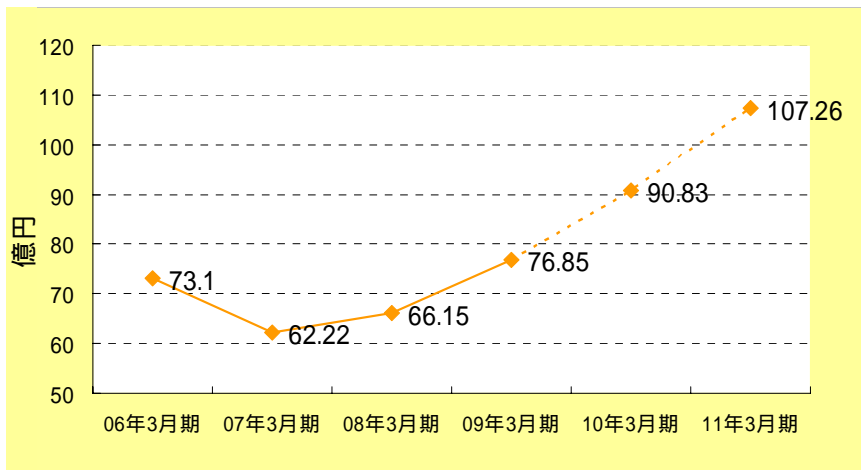
ライセンス売上(小売)の世界ランキング (\$ Billion)

Ranking (2007)	Company	Revenue (\$ Billion)	Share (2007)	2006 Revenue (\$ Billion)	Ranking (2006)
1	ディズニー・コンシューマー	\$26.00 B	23.6%	\$24.00 B	(1)
2	フィリップス バン ヒューセン	\$6.70 B	6.1%	\$6.70 B	(2)
3	ワーナー・ブラザーズ	\$6.00 B	5.5%	\$6.00 B	(3)
4	アイコニックス	\$6.00 B	5.5%	—	
5	マーベルエンターテインメント	\$5.50 B	5.0%	\$4.80 B	(6)
6	ニコロデオン&ヴィアコム	\$5.50 B	5.0%	\$5.30 B	(4)
7	メジャーリーグ ベースボール	\$5.10 B	4.6%	\$4.70 B	(7)
8	サンリオ	\$5.00 B	4.5%	\$5.20 B	(5)
9	チェロキーグループ	\$4.00 B	3.6%	—	
10	ナショナルフットボール	\$3.40 B	3.1%	\$3.20 B	(10)
No. 11-30 TOTAL		\$36.75 B	33.4%	\$36.26 B	35.5%
TOTAL		\$109.95 B	100.0%	\$102.16 B	100.0%

(出所: ライセンス! マガジン)

国内は2000年以降1.6-1.7兆円レベルで伸び悩んでおり、今後の成長市場は海外がベース。

新中期経営計画 (Project2010)の概要



目 標

営業利益	107億円
ROE 株主資本当期純利益率	18%
ROA 総資産経常利益率	13%
自己資本比率	44%

業績計画(連結)

(単位:億円)

	08/3期 (実績)	09/3期 (計画)	10/3期 (計画)	11/3期 (計画)	08/3-11/3 増減
売上高	939	721	761	785	153
売上総利益	392	388	410	424	+31
販管費	326	311	319	317	9
営業利益	66	76	90	107	+41
経常利益	52	69	86	103	+50
当期純利益	11	37	50	63	+52
売上総利益率(%)	42	54	54	54	+12
ROE(%)	3	12	16	18	+15
ROA(%)	6	8	11	13	+7
自己資本比率	37.0%	38.0%	41.0%	44.0%	+7
総資産	889	816	809	807	81
自己資本	329	311	327	358	+29

営業増益幅として、初年度15%、次年度18%、最終年度19%で営業利益107億円を目指す計画。
09/3月期の減収は取引形態の変更が主因。

事業別営業利益計画

(単位:億円)

		08年3月期 実績	計画			増減	増減率
			09/3	10/3	11/3	08/3期比	
内 訳	国内物販	11	16	17	18	6	59.10%
	国内ライセンス	74	74	75	75	1	2.0%
	テーマパーク	8	0	1	2	11	-
	テーマパーク支援費用	2	1	1	1	0	-
	テーマパーク計	10	1	0	0	11	-
	海外	87	90	101	110	23	26.7%
	その他	7	1	1	0	6	-
	本社コストセンター経費他	87	101	101	97	9	-
連結営業利益		66	76	90	107	41	62.1%

営業増益41億円のうち、約半分の23億円を海外で、残りを国内各事業で賄う。
海外はサブプライム問題、円高懸念と予断を許さない状況から、前期比慎重な増益計画3ヵ年で26%、
底打ち基調の国内物販は60%増益、テーマパーク、その他は黒字化を目指す。

1. 2008/3月期 実績
2. 新中期経営計画 (2009/3-2011/3)
3. 2009/3月期 業績予想
4. 事業別説明
5. 参考資料

09/3月期 通期損益計画

(単位:億円)

	09/3期 計画	前期比			09/3期 第2四半期 計画	前期第2四半期比		
		08/3 通期実績	増減額	増減率		08/3 第2四半期	増減額	増減率
売上高	721	939	217	23.2%	346	443	97	21.9%
売上総利益	388	392	4	1.0%	189	186	3	1.9%
販管費	311	326	14	4.5%	159	158	1	0.8%
営業利益	76	66	10	16.2%	30	27	2	7.8%
営業外損益	7	13	5	-	4	4	0	-
経常利益	69	52	16	31.4%	25	23	2	9.7%
特別損益	1	10	9	-	1	4	3	-
税引前利益	67	41	25	61.9%	24	19	5	30.1%
法人税・法人税等調整額合計	29	30	0	2.4%	11	11	0	-
当期純利益	37	11	26	236.9%	12	7	5	78.2%
売上総利益率	53.9%	41.8%	12.1%	-	54.8%	42.0%	12.8%	-
営業利益率	10.7%	7.0%	3.7%	-	8.7%	6.3%	2.4%	-
経常利益率	9.6%	5.6%	4.0%	-	7.5%	5.3%	2.2%	-

売上は取引形態の変更等により 23% (利益面での影響はない)。海外子会社の9ヶ月決算、円高等減益要因あるが、販管費削減し、16%の営業増益。

09/3月期 事業別営業利益計画

(単位:億円)

		09年3月 計画	前期比			09年3月期 第2四半期 計画	前期比		
			08年3月期 通期実績	増減額	増減率		08年3月期 第2四半期実績	増減額	増減率
事業別営業 (直接) 利益	国内物販	16	11	4	41.5%	4	2	2	104.4%
	国内ライセンス	74	74	0	0.1%	34	36	1	4.5%
	テーマパーク	0	8	9	-	2	1	3	-
	テーマパーク支援費用	1	2	0	-	0	1	0	-
	テーマパーク計	1	11	9	-	1	2	4	-
	海外	90	87	3	3.7%	42	39	3	8.8%
	その他	1	7	6	-	0	3	3	-
本社コストセンター 経費他		101	87	13	-	52	43	8	-
連結営業利益		76	66	10	16.2%	30	27	2	7.8%

海外が米国、香港、台湾子会社の9ヶ月決算、円高で伸びが鈍化するが、国内物販、テーマパーク、その他が持ち直し、10億円(16%)営業増益。

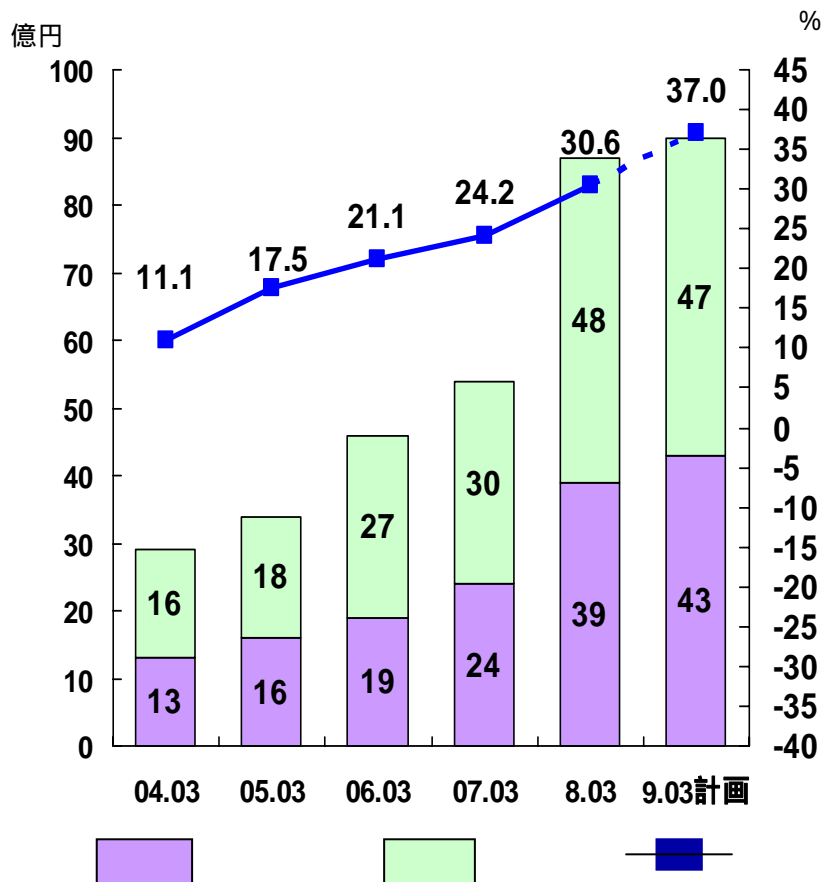
1. 2008/3月期 実績
2. 新中期経営計画 (2009/3-2011/3)
3. 2009/3月期 業績予想
4. 事業別説明
5. 参考資料

事業別の状況(1)

海外事業

積極的拡大

営業直接利益の推移及び計画



上半期営業利益

下半期営業利益

売上高営業利益率(右軸)
点線は計画値

08/3月期のレビュー

26%増収、60%増益

- ・全地域でライセンス取引が伸び大幅な増収増益。
- ・特に好調の欧州は物販用倉庫機能拡充及び現地有力人材のライセンス営業部長起用が奏功。

09/3月期計画

14%減収、3.7%増益

- ・米国、香港、台湾子会社の9ヶ月決算、円高で減収計画だが、稼ぎ頭欧州は堅調、又他地域も増益計画。
- ・欧米ライセンス営業強化のため、現地部長人材3名採用の上、従来欧州と米州で独立していた営業体制を一本化し欧米を跨ぐ大企業取引の拡大を担う。

海外事業業績推移

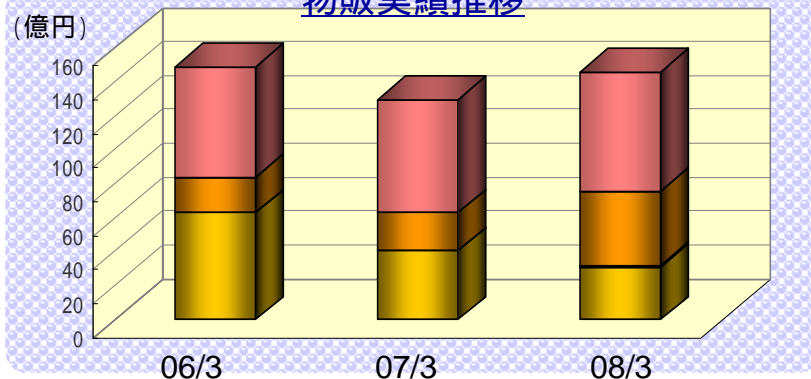
(単位:億円)

	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3(計画)
売上	195	221	225	284	244
昨年対比	-	113%	102%	126%	86%
営業利益	34	47	54	87	90
昨年対比	118%	138%	115%	161%	103%
海外売上比率	15%	17%	18%	24%	24%
海外営業利益比率 (本社コストセンター経費他控除前)	22%	27%	36%	57%	51%

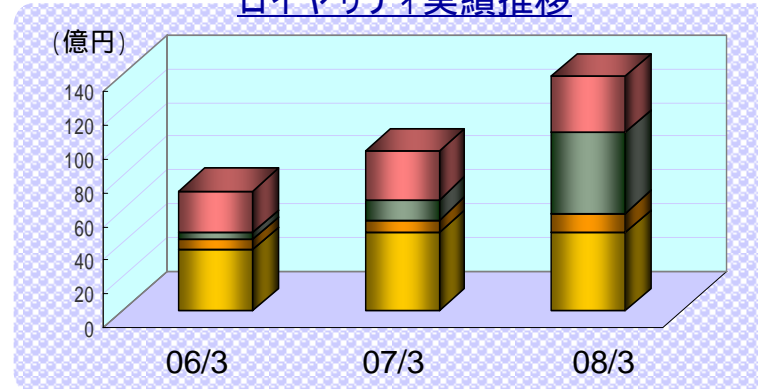
海外は連続9期増益で、営業利益に占める割合も08年3月期に57%と初めて半分を超えた。今後も50%超で推移する見込み。

地域別売上推移 (ロイヤリティ・物販)

物販実績推移



ロイヤリティ実績推移



(単位:億円)

		2006/3		2007/3		2008/3	
		実績		実績	昨対%	実績	昨対%
北米	ロイヤリティ	36		46	28%	46	0%
	物販	63		41	35%	31	24%
	売上	99		88	11%	77	13%
南米	ロイヤリティ	6		8	33%	12	63%
	物販	0		0	0%	1	0%
	売上	7		8	14%	13	63%
欧州	ロイヤリティ	4		12	200%	48	300%
	物販	21		22	5%	44	100%
	売上	25		34	36%	92	171%
アジア	ロイヤリティ	25		29	16%	33	14%
	物販	65		67	3%	70	4%
	売上	90		95	6%	103	8%
海外事業 計	ロイヤリティ	72		95	32%	139	46%
	物販	149		130	13%	146	12%
	売上	221		225	2%	285	27%

欧州は大幅増収、アジア、南米も増収だが、サブプライム問題を抱える北米は減収。
各地域増収の大半はライセンス取引。

為替リスク状況

● 円ドル変動の影響

営業利益: 米国子会社分

同社・営業利益の09/3期計画は約9百万ドル
09/3期社内レートは100円(08/3期の114円に比べ14円円高)
従って、08/3期に比べると、1.3億円縮小している
又09/3期の通期平均が仮に104円となると、計画比0.4億円上回る

営業外損益: 為替差損益

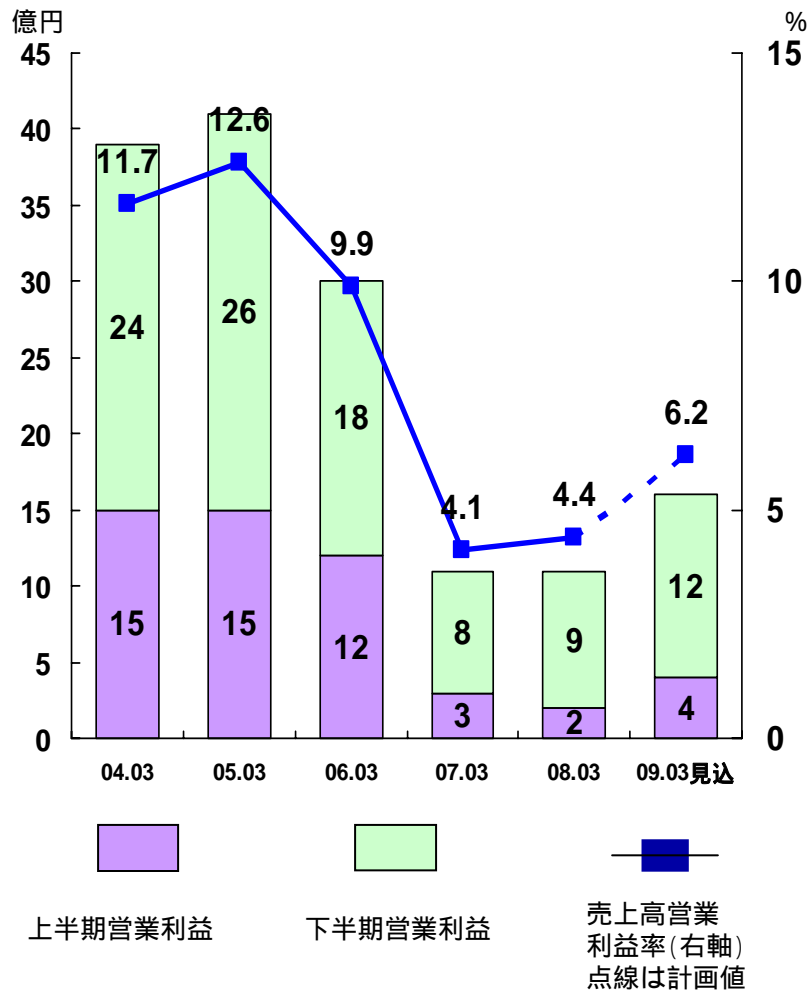
売掛金、買掛金等の計上時レートと入金時レートの差
期中の凸凹であり予想は難しい
因みに08/3期は急激な円高により差損4.8億円
現在、可能な取引からドル ユーロシフトを検討中

事業別の状況(2)

国内物販事業

販売力立直し

営業直接利益の推移及び計画



08/3月期のレビュー

前期比4.8%減収、1.6%増益

- ・消費市場は猛暑等天候要因が響き伸びず。
- ・商品企画の強化、低採算店の退店(23店)が奏功し既存店昨対が久方ぶりに昨対をオーバー。

09 / 3月期計画

前期比0.2%増収、41%の増益

- ・引き続き低採算店の退店(11店)及び商品発注関連業務のアウトソースにより経費削減(2億円)
- ・3キャラクターを新投入、他社ブランドとのコラボ、店舗改装等による増収益(2億円)

国内物販既存店昨対推移



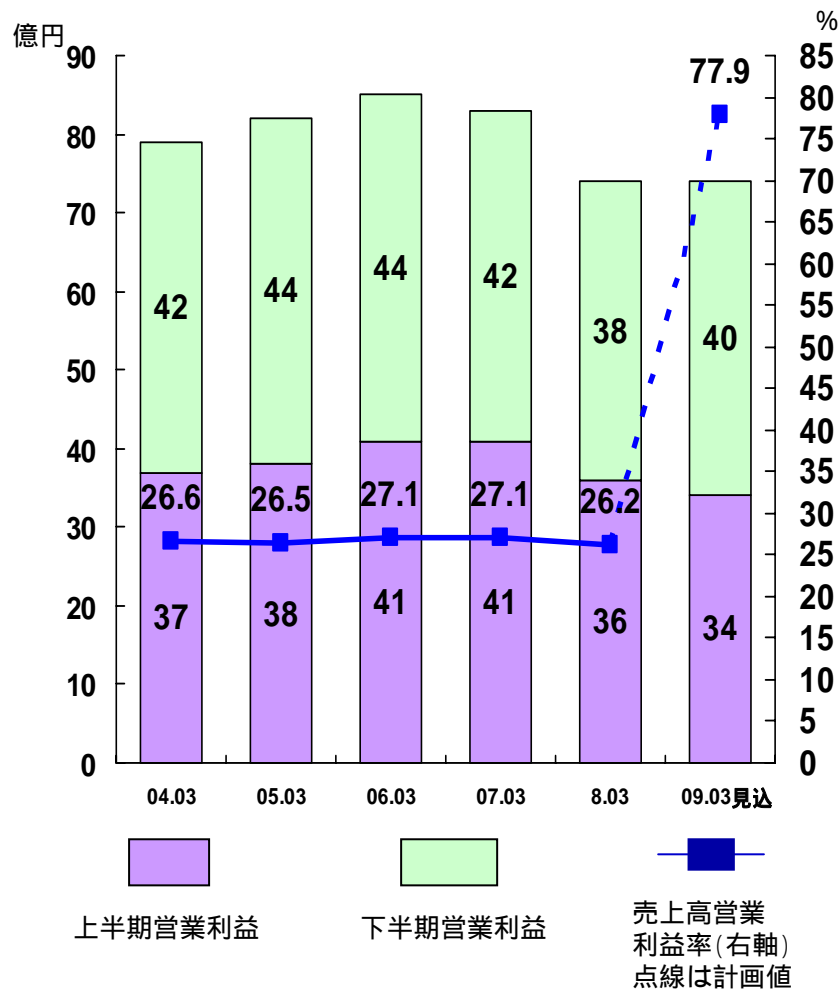
前年比下回る期間が長かったが、昨年11月及び今年2月から4月と2年半ぶりに前年同期を上回ってきており底打ち基調。

国内物販主要キャラクター

Ranking		Character	Development year	Category	Copyright holder
1		ハローキティ	1974	Cat	Sanrio
2		シナモロール	2002	Dog	Sanrio
3		シュガーバニーズ	2005	Rabbit	Sanrio
4		マイメロディ	1974	Rabbit	Sanrio
5		しんかんせん	1999	Train	Sanrio
6		スヌーピー	-	Dog	United Feature Syndicate Inc.
7		チャーミーキティ	2004	Cat	Sanrio
8		クロミ	2005	Mystery	Sanrio
9		てのりくま	2005	Bear	Sanrio
10		シナモエンジェルス	2005	Dog	Sanrio

ハローキティは、広範な年齢層に、幼児にはシナモロールだけでなく、シュガーバニーズが大人気、また、TVアニメ放映以来マイメロディ人気が十代に復活。

営業直接利益の推移及び計画



08 / 3月期のレビュー

前期比8.2%減収、11%減益

- ・従来から物販の動きに遅行傾向。従って底打ち未済。
- ・『シュガーバニーズ』のマスターライセンス好調 (事業内シェア 0% 4%)






09 / 3月期計画

前期比66%減収、収益横這い

- ・他社有力ブランドとのコラボ (雑誌『VOGUE』他)
- ・減収要因は取引形態の変更による。

キャラクターライセンス状況

(敬称は省略させて頂きました)

キャラクター	生まれた年	主なライセンス先	
ハローキティ 	1974年	金融	富国生命、フコクしんらい生命、みずほ銀行、OMCカード、クレディセゾン
		AV & ホームアプライアンス	ソフトバンクモバイル、富士フィルムイメージング
		ヘルス & コスメニエンス	資生堂、コーセー
		衣料・服飾	ワールド、ワコール、ANNASUI
		玩具・雑貨	セガトイズ、プリチストーンスポーツ
		菓子・食品	伊藤ハム、紀文食品、森永製菓、江崎グリコ、日本マクドナルド
		自動車	三菱自動車
シナモロール 	2002年	東京都民銀行、バンダイ、ショウワノート、朝日新聞、日本マクドナルド	
マイメロディ (& クロミ) 	1975年 (クロミは2005年)	アサヒコーポレーション、イマジニア、千趣会、ニチバン、バンダイネットワークス、ロッテリア	
シュガーバニーズ 	2004年	タカラトミー	
シンカンセン 	1999年	アサヒコーポレーション、サクラクレパス、福助	

最近3年目キャラクターのシュガーバニーズが伸びているが、やはりライセンス取引ではハローキティがシェア6割。

国内ライセンス事業

▶ タレントとのコラボレーション

小倉優子×リトルツインスターズ



▶ 他社ブランドとのコラボレーション

▶ 他社との共同開発キャラクター

2008年秋デビュー

セガトイズ×サンリオ

“Jewelpet(ジュエルペット)”

様々な宝石の瞳を持つ魔法使いのペットたち。



1年目上代 30億目標商品展開は一部7月より。
9月にはライセンス及びサンリオオリジナル商品を展開。



・VOGUE×ハローキティ

世界のファッションモード誌とのコラボ。
キティが誌上でパリコレのモードに変身。
特別付録にキティ携帯チャーム。

▶ 他社キャラの育成



ベティ・ブーブ(1年目)
上代 10億予測

2008年4月～



JERRY(1年目)
上代 10億予測



・PEACH JOHN×ハローキティ

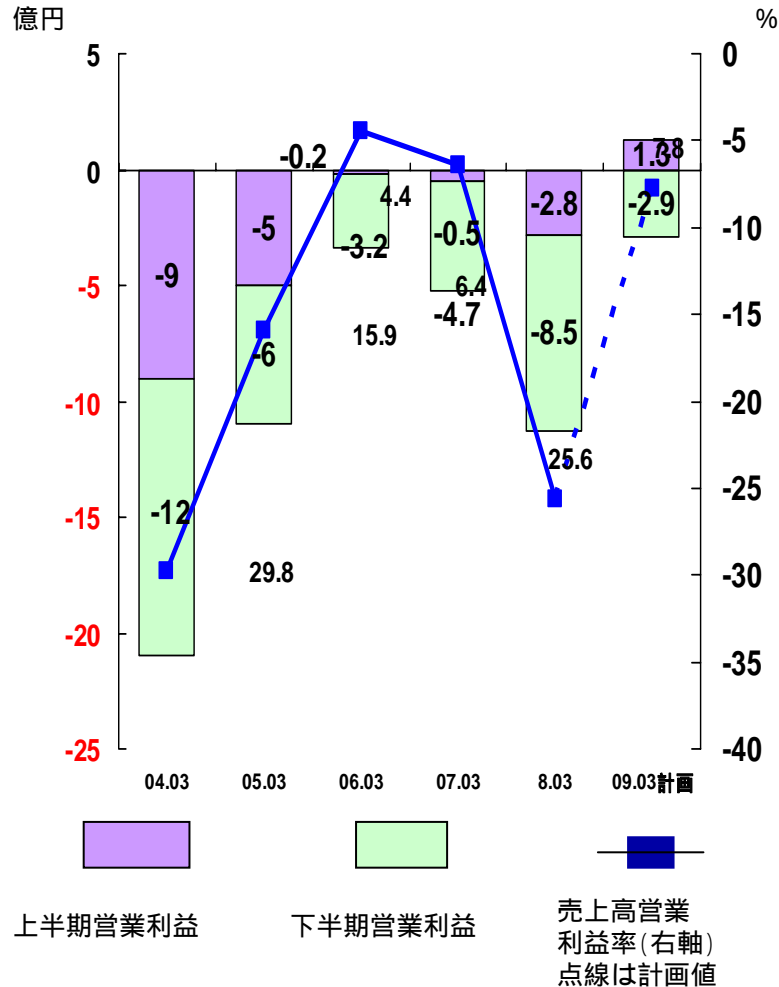
- ・セサミストリート(4年目) 上代 80億予測
- ・ピンクパンサー&パルス(2年目) 上代 20億予測

事業別の状況(4)

テーマパーク事業

魅力度向上

営業直接利益の推移及び計画



前期のレビュー

前期比6.9%減収、6億円減益

入場者数	SPL	11%	OHL	9%
客単価	SPL	4%	OHL	1%
売上	SPL	13%	OHL	9%
営業利益	SPL	10億円	OHL	2億円 本社+5億円

SPLで本格的な新アトラクションを投入したが、割引額圧縮が団体客の大幅減を招いた。加えて猛暑等悪天候が幼児連れの外出を抑えた。(SPL,OHL)

09/3月期計画

前期比10%増収、9億円増益

入場者数	SPL	+6%	OHL	+7%
客単価	SPL	0%	OHL	+4%
売上	SPL	+11%	OHL	+10%
営業利益	SPL	+7億円	OHL	+1億円

対策 割引復元を梃子に団体営業にサンリオ
 全社で取組(3億円)
 新アトラクション投入
 08/5シナモンタウン
 08/秋 ショー『海のメルヘン』再演
 演目と回数の見直し等による経費削減(3億円)
 海外向ライセンス(中国、台湾、韓国)等
 館外収入(2億円)

ショー画像



ハローキティのくみ割り人形 '06/6月 ~ '09/4月終了予定



サンリオハートフルパレード"Believe"(ビリーヴ) '07/6月 ~



サムデイ '05/6月 ~ '08/5月25日

テーマパークコンテンツ 海外ライセンス(中国)



'08年3月21日の北京公演を皮切りに3年間にわたり中国各地、約40ヵ所で600公演が予定されてます。
5/30～6/1 杭州、7/18～7/20 上海公演

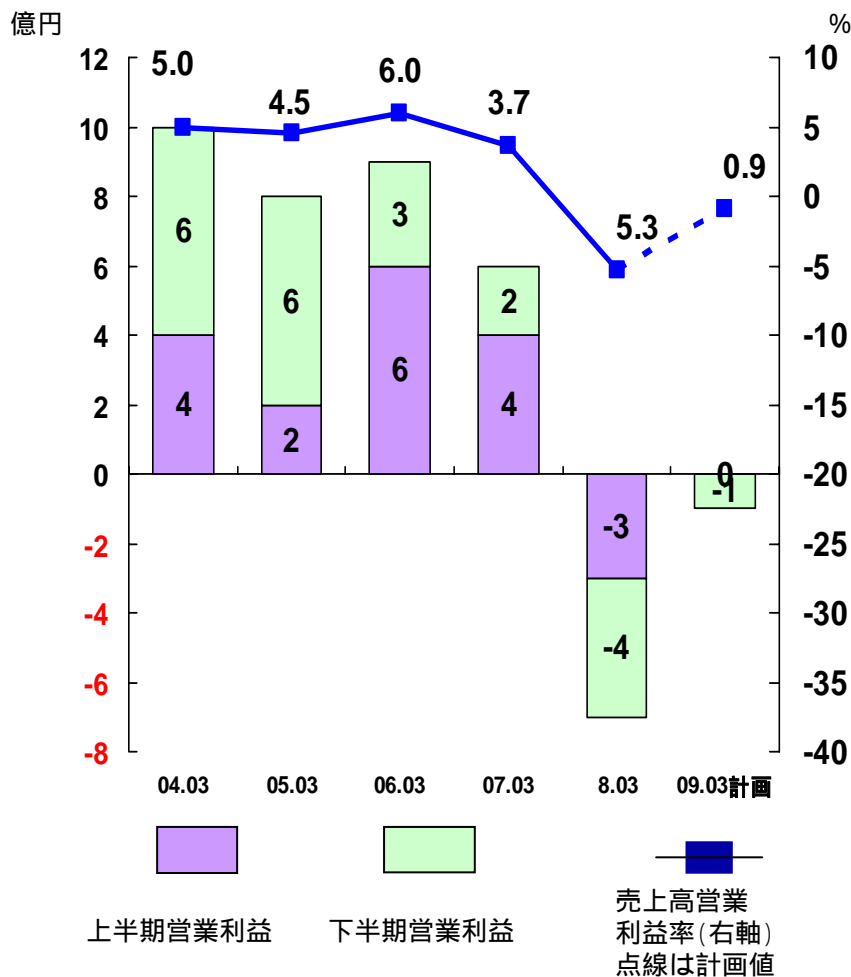
事業別の状況(5)

その他事業

コンテンツの効率的活用

コンビニ向け特注・企業向けセールスプロモーション・カード・コンテンツ・他社OEM・ロボット・自販機

営業直接利益の推移及び計画



08 / 3月期のレビュー

前期比16%の減収、14億円の減益

- ・大口CVS取引、企業特注の落込み(7億)
- ・映画制作(3億円)
- ・ココロ連結取込(1億円)

09 / 3月期計画

前期比1.1%の減収、6億円増益

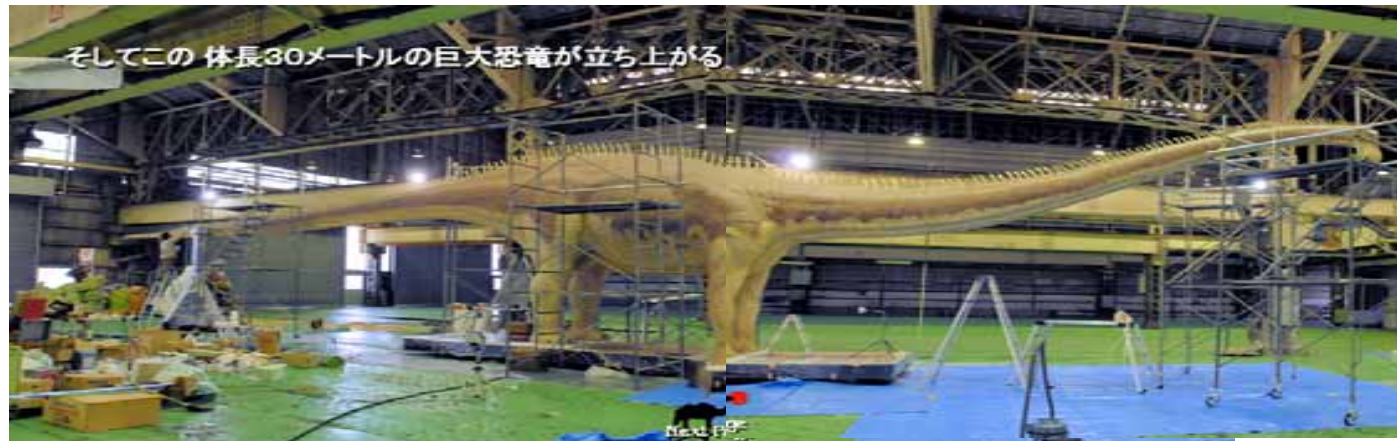
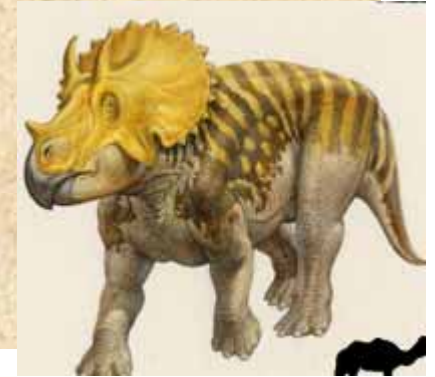
- ・海外向等取引開拓
(ドバイ恐竜テーマパーク他) (3億円)
- ・07年度計上の映画制作費負担軽減 (3億円)

ココロの海外取引(ドバイ)

ドバイとは

アラブ首長国連邦(UAE)の7首長国(アブダビ、**ドバイ**、シャルジャ、アジマーン、ウンムルカイワイン、ラッスルハイマ、フジャイラ)の中のひとつの首長国。UAEの首都はアブダビだがドバイはUAEの表玄関として発達し、アラビアンリゾートとして注目を集めている。

世界最大の恐竜テーマパーク Restless Planet



1. 2008/3月期 実績
2. 新中期経営計画 (2009/3-2011/3)
3. 2009/3月期 業績予想
4. 事業別説明
5. 参考資料

08/3月期事業別売上高

(単位:億円)

		08年 3月期 実績	前期比			計画比		
			07/3実績	増減額	増減率	計画	増減額	増減率
事業別 売上	国内物販	261	275	13	4.8%	263	1	0.5%
	国内ライセンス	283	309	25	8.2%	301	17	5.9%
	テーマパーク	76	82	5	6.9%	83	6	8.1%
	海外	284	225	59	26.6%	286	1	0.6%
	その他	146	174	27	16.0%	172	25	14.7%
連結消去等		115	99	15	-	137	21	-
連結売上高		939	966	27	2.8%	970	30	3.2%

海外が26%増収だったが、国内各部門の減収を補いきれず連結で2.8%の減収。

貸借対照表・株主資本変動計算書

(単位:億円)

	08/3期末	07/3期末	増減		08/3期末	07/3期末	増減
流動資産	353	395	42	流動負債	382	383	0
現預金	129	167	38	支払手形・買掛金	84	116	31
受取手形・売掛金	131	128	2	短期借入金・社債	236	211	25
棚卸資産	53	56	3	固定負債	177	217	40
繰延税金資産	25	26	1	長期借入金	35	73	37
有・無形 固定資産	231	236	5	社債	55	68	12
				退職給付引当金	68	65	3
投資他資産	304	329	25	純資産	329	361	31
投資有価証券	76	86	10	資本金	149	149	-
繰延税金資産	97	108	11	剰余金	221	227	6
差入保証金	41	46	5	有証評価差額金	8	4	12
繰延資産	0	0	0	為替換算調整	22	10	12
資産合計	889	962	72	負債純資産合計	889	962	72

	期首残高	剰余金の 配当	当期純利益	その他	変動額合計	期末残高	その他内容
資本金	149	-	-	-	-	149	
資本剰余金	100	-	-	0	0	100	
利益剰余金	126	13	11	4	6	120	
自己株式	9	-	-	0	0	9	
株主資本	367	13	11	4	6	361	
その他有価証券評価差額金	4	-	-	12	12	8	
繰延ヘッジ	0	-	-	0	0	0	
為替換算調整勘定	10	-	-	12	12	22	
評価・換算差額等合計	6	-	-	25	25	31	
少数株主持分	0	-	-	0	0	0	
純資産合計	361	13	11	30	31	329	

有利子負債25億円削減

キャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	08 / 3期	07 / 3期	増 減
営業活動CF	38	56	18
税金等調整前当期純利益 (は損失)	41	59	17
減価償却費等	16	14	1
引当金の増加	11	4	6
棚卸資産・売上債権仕入債務増減	32	12	20
受取利息の収入	4	4	0
支払利息の支出	7	8	0
法人税等の支払	11	9	2
投資活動CF	23	3	20
定期預金収支	6	0	6
有形固定資産取得支出(テーマパーク設備・店舗内装)	14	10	4
投資有価証券取得・売却等収支	14	17	31
貸付金収支	0	3	2
保証金返還収入	9	10	0
フリーCF	14	53	38
財務活動CF	38	47	9
借入金・社債収支	25	35	9
配当金支払額	13	12	0
現金等の残高	124	155	30

支払手形削減スキーム関連の信託受益権購入、投資有証売却減等でフリーCFが14億円に減じたため、借入返済には現金取崩し。

09/3月期事業別売上高計画

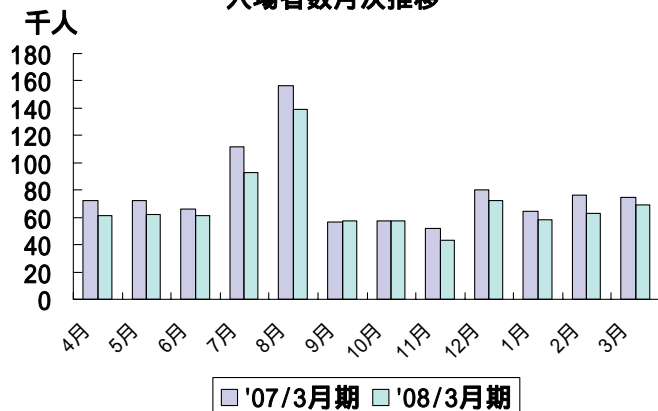
(単位:億円)

	09年3月期 計画	前期比			09年3月期 第2四半期 計画	前期比			
		08年3月期 通期実績	増減額	増減率		08年3月期 第2四半期実績	増減額	増減率	
事業別 売上	国内物販	262	261	0	0.2%	114	114	0	0.2%
	国内ライセンス	96	283	187	66.1%	45	138	93	67.4%
	テーマパーク	84	76	7	10.0%	46	43	3	7.2%
	海外	244	284	40	14.2%	127	135	8	6.0%
	その他	145	146	1	1.1%	69	67	2	3.3%
連結消去等		111	115	3	-	56	55	1	-
連結売上高		721	939	217	23.2%	346	443	97	21.9%

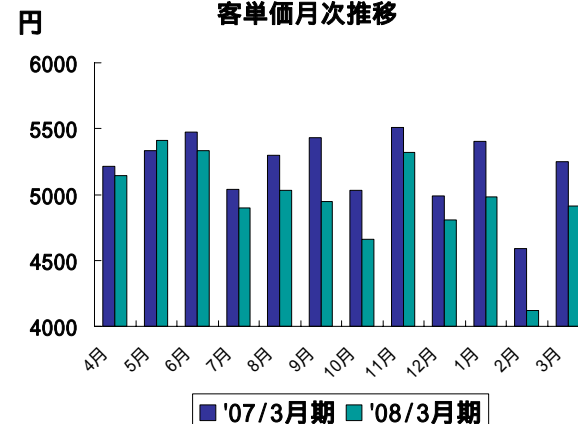
取引形態の変更により国内ライセンスが66%の大幅な減収、海外が9ヶ月決算などで14%減収となり連結で23%の減収。

08/3月期 & 09/3月期 ピューロランド(SPL)

入場者数月次推移



客単価月次推移



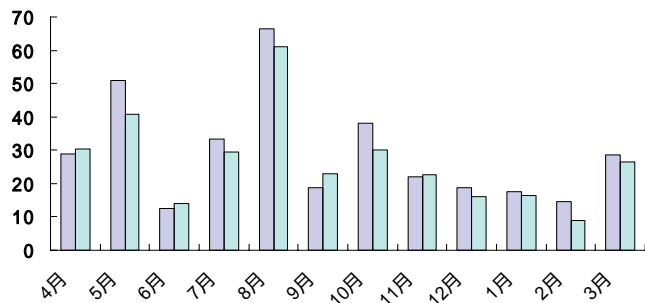
SPL		08/3期 通期実績	前期実績			09/3期計画	前期比	
			前期実績	増減額	増減率		増減額	増減率
顧客 単 価	入場者数(万人)	83.5	94.0	10.5	11.2%	88.2	4.7	5.6%
	合計(円)	4,959	5,171	212	4.1%	4,991	32	0.6%
	入場料(円)	2,188	2,285	97	4.2%	2,212	24	1.1%
	物販(円)	1,859	1,915	56	2.9%	1,863	4	0.2%
	飲食(円)	912	971	59	6.1%	916	4	0.4%
館内収入(億円)		41.7	48.9	7.2	14.7%	44.0	2.3	5.6%
館外収入(億円)		14.2	15.1	0.9	6.3%	17.9	3.7	25.8%
売上高(億円)		55.9	64.0	8.2	12.7%	61.9	6.0	10.8%
原価(億円)		19.9	22.9	3.1	13.3%	21.8	1.9	9.6%
売上総利益(億円)		36.0	41.1	5.1	12.4%	40.1	4.1	11.5%
販管費(億円)		43.2	37.9	5.2	13.8%	40.0	3.2	7.3%
営業利益(億円)		7.2	3.2	10.4	-	0.1	7.3	-
原価率		35.6%	35.8%	0.2%	-	35.2%	0.4%	-

前期比: 入場者数105%、客単価100%、館内増益1.5億円、海外ライセンスを始め
館外増益2.5億円、経費削減3億円、合計7億円の増益計画。

08/3月期 & 09/3月期 ハーモニーランド(HL)

千人

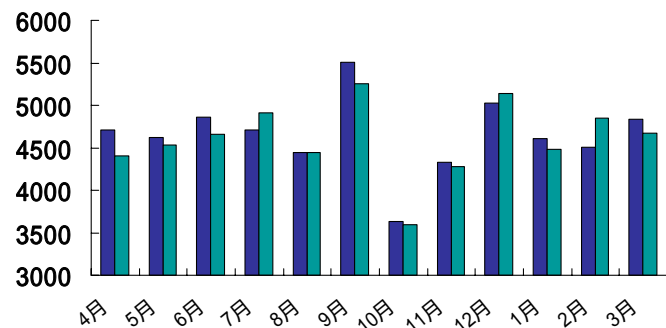
入場者数月次推移



□ '07/3月期 □ '08/3月期

円

客単価月次推移



■ '07/3月期 ■ '08/3月期

HL		08/3期 通期実績	前期実績			09 / 3期計画	前期比	
			前期実績	増減額	増減率		増減額	増減率
顧客 単 価	入場者数(万)	31.9	35.1	3.2	9.1%	34.0	2.1	6.6%
	合計(円)	4,356	4,407	51	1.2%	4,534	178	4.1%
	入場料(円)	2,034	2,012	22	1.1%	2,207	173	8.5%
	物販(円)	1,559	1,579	20	1.3%	1,563	4	0.3%
	飲食(円)	763	816	53	6.5%	765	2	0.3%
館内収入(億円)		13.9	15.5	1.6	10.0%	15.4	1.5	10.9%
館外収入(億円)		2.2	2.3	0.1	3.1%	2.4	0.2	7.2%
売上高(億円)		16.1	17.8	1.6	9.1%	17.8	1.7	10.4%
原価(億円)		4.8	5.4	0.6	10.6%	5.3	0.5	10.6%
売上総利益(億円)		11.3	12.4	1.1	8.5%	12.5	1.2	10.3%
販管費(億円)		13.2	12.4	0.8	6.6%	12.9	0.3	2.5%
営業利益(億円)		1.9	0.0	1.9	-	0.4	1.5	-
原価率		29.7%	30.2%	0.5%	-	29.8%	0.1%	-

入場者数106%、入園券のパスポート集約化により客単価104%で館内増益1億、経費削減等合計1.5億の増益計画。

中期計画：事業別売上高

(単位：億円)

		08年3月 期 実績	前年同期比			11年3月期 計画	08年3月期比		
			07年3月期 通期実績	増減額	増減率		08年3月期 実績	増減額	増減率
事業別 売上	国内物販	261	275	13	4.8%	265	261	3	1.2%
	国内ライセンス	283	309	25	8.2%	98	283	185	65.3%
	テーマパーク	76	82	5	6.9%	86	76	9	12.3%
	海外	284	225	59	26.6%	319	284	34	12.0%
	その他	146	174	27	16.0%	132	146	14	10.1%
連結消去等		115	99	15	-	115	115	0	-
連結売上高		939	966	27	2.8%	785	939	153	16.3%

中期計画:海外事業

海外事業の事業計画(営業直接利益23億円増)の内訳

		08/3期 実績 (億円)	11/3期 目標値 (億円)	増減 (億円) %	主要な施策
海 外 子 会 社	Sanrio Inc (米国)	12.2	14.3	+2.2 17.8%	米国と欧州で分かれていた営業組織を一本化し、複数国・地域にまたがって事業展開する大企業を中心にライセンス供与先を積極的に開拓
	Sanrio 香港	2.7	5.7	+3.0 114.3%	イベントの実施によりファン層拡大。景品関連の需要増加も見込まれる
	Sanrio 台湾	1.0	3.9	+2.8 273.8%	台北国際空港内に新設されたKITTY DUTY FREE SHOP などの空間ロイヤルティ、また金融機関向けライセンスの強化
	Sanrio Korea	1.6	1.1	0.5	韓国内での商品化マスターライセンス権をサンリオ本社と韓国企業が契約(本社計上分ロイヤルティと合算では+4.1増益となる計画)
	Sanrio Shanghai	0.8	1.6	+0.8 101.3%	08/12期末にはサンリオショップは120店舗規模に拡大する見込み 外部公演との連動によるファン層拡大
	Sanrio Gmbh (欧州)	20.1	30.6	+10.4 51.8%	西欧諸国に加え、東欧、ロシア、中東でのキャラクター認知度が拡大
海外事業統括部 (本社)		48.7	53.3	+4.6 9.4%	アジア地域への卸販売増加 ライセンス収入を現地子会社と海外事業統括部で配分
合 計		87.1	110.4	+23.3 26.8%	

中期計画: プューランド(SPL)

SPL		08/3期 通期実績	11/3期 計画	08/3実績対比	
				増減額	増減率
顧客 単 価	入場者数(万人)	83.5	89.8	6.3	7.5%
	合計(円)	4,959	5,018	59	1.2%
	入場料(円)	2,188	2,220	32	1.5%
	物販(円)	1,859	1,873	14	0.8%
	飲食(円)	912	925	13	1.4%
	館内収入(億円)	41.7	45.1	3.4	8.2%
	館外収入(億円)	14.2	18.3	4.1	28.9%
	売上高(億円)	55.9	63.4	7.5	13.4%
	原価(億円)	19.9	22.2	2.3	11.6%
	売上総利益(億円)	36.0	41.2	5.2	14.4%
	販管費(億円)	43.2	39.4	3.8	8.8%
	営業利益(億円)	7.2	0.2	7.4	102.8%
	原価率	35.6%	35.0%	0.6	

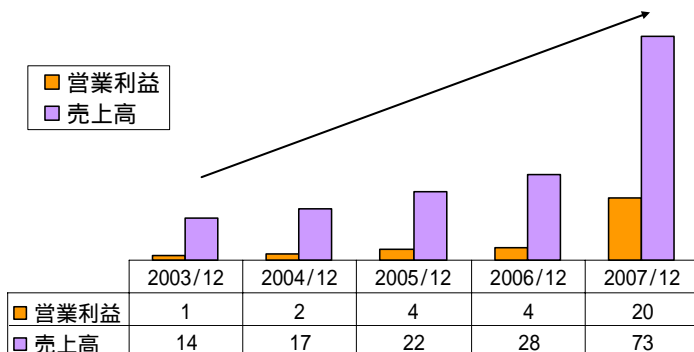
中期計画：ハーモニーランド(OHL)

OHL		08/3期 通期実績	11/3期 計画	08/3実績対比	
				増減額	増減率
顧客 単 価	入場者数(万人)	31.9	34.5	2.6	8.2%
	合計(円)	4,356	4,535	179	4.1%
	入場料(円)	2,034	2,207	173	8.5%
	物販(円)	1,559	1,563	4	0.3%
	飲食(円)	763	765	2	0.3%
	館内収入(億円)	13.9	15.6	1.7	12.2%
	館外収入(億円)	2.2	2.5	0.3	13.6%
	売上高(億円)	16.1	18.1	2.0	12.4%
	原価(億円)	4.8	5.3	0.5	10.4%
	売上総利益(億円)	11.3	12.8	1.5	13.3%
	販管費(億円)	13.2	12.8	0.4	3.0%
	営業利益(億円)	1.9	0.0	1.9	100.0%
	原価率	29.7%	29.3%	0.4%	

海外事業 (欧州)

損益推移

(単位:億円)



今期通期 売上 前期比+162%
利益 前期比+393%

国別売上

(単位:億円)

順位	ライセンス	ホールセール
1	スウェーデン	10
2	フランス	5
3	スペイン	5
4	イタリア	4
5	イギリス	3

店舗数

	2005/12	2006/12	2007/12	2008/12(予)
直営店	7	7	7	7
代理店直営(欧州)	16	17	17	20
代理店直営(中東)	7	9	*	10
代理店直営(ロシア)	3	3	3	4
店舗数	33	36	36	41

*)2007年12月 インドにサンリオショップ1号店オープン
ロシアでは代理店直営の他、オーナーショップも展開

ライセンス取引

今期実績

ライセンサー数124社 (+36社)
売上 前期比 +372%

主な取引先	国	アイテム	取引先情報
H&M HENNES & MAURITZ AB (*1)	スウェーデン	アパレル全般	2008年、日本に進出
OYSHO ESPANA, SA	スペイン	下着・パジャマ等	ZARAの系列会社
CARINE SRL	イタリア	アパレル全般	
BLUES CLOTHING LTD.	イギリス	アパレル全般	
BIP HOLLAND BV	オランダ	お菓子、食玩	
VICTORIA CASHMERE SARL (*2)	フランス	高級ファッション商品	

(*1)H&M

来年以降、H&Mの進出に合わせ数ヶ国でライセンス展開予定
(カナダ・米国・香港・日本等)
ハローキティ以外の展開も検討。

(*2)VICTORIA CASHMERE SARL

VictoriaCouture

ハローキティとのコラボレーションによって生まれたトータルファッションブランド。
20代後半と30代からのおしゃれで高級志向な女性に向けたラグジュアリー商品。
現在パリに4店舗、カンヌに1店舗の専門ショップを展開。
好評につき日本へ逆輸入。以下店舗にて限定販売。
期間限定ショップ 『Hello Kitty meets Fashion』
サンリオクエスティーナ銀座

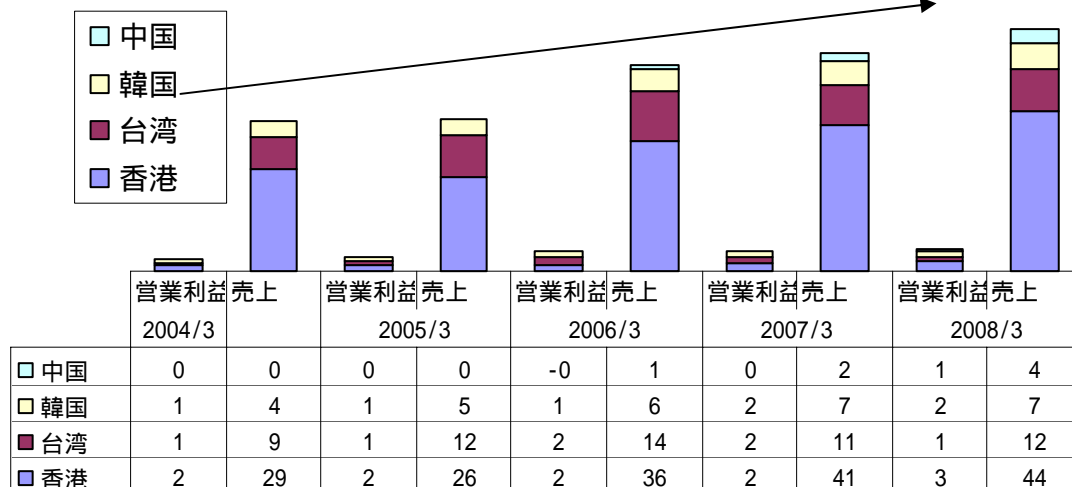


来期よりライセンス事業をより強化

- ・欧州、米州で営業体制がそれぞれ独立していたライセンス営業体制を一本化。
- ・現地の有力人材を専任として採用。
- ・欧米を跨ぐ大企業向取引の拡大を狙う。

海外事業 (アジア)

(単位:億円)



今期通期 売上 前期比+11.6%
利益 前期比 +9.1%

(中国は2006年3月期より連結)

2007年8月 初オープン
DFS内サンリオショップ



桃園国際空港 in 台湾



アニメーション放映・
DVD販売の拡大 / 韓国

◆ 店舗数

	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3(予)
香港	26	28	28	29
台湾	23	26	26	27
韓国	35	38	39	45
中国	27	71	107	125
店舗数	112	163	200	226

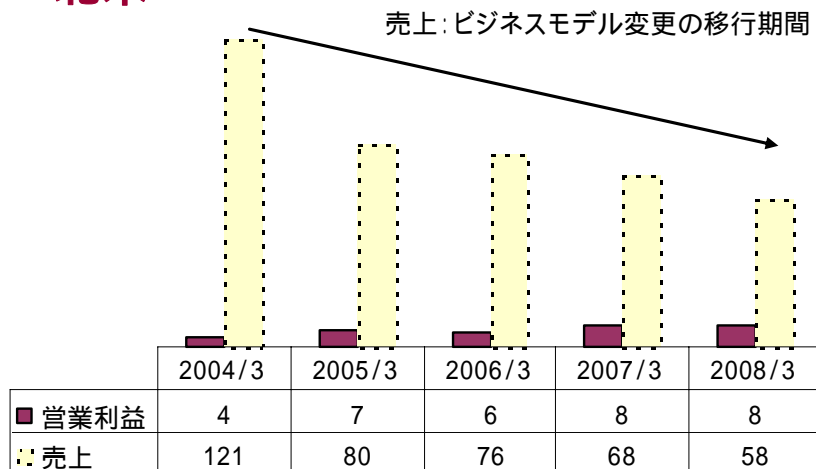
◆ ライセンサー数 334社(+71社)・売上 前期比 +14%

国	主な取引先	アイテム
香港	MTR Corporation	地下鉄景品
	The Continuity Company	セブンイレブン景品
	Dah Sing Bank (大新銀行)	銀行景品
台湾	PRESIDENT CHAIN STORE CO.	セブンイレブン景品・イベント
	EVA Airways Corp	JETペンティング・機内備品等
韓国	SHINHAN CARD (新韓銀行)	クレジットカード等
	SONOKONG	マイメロディアアニメ放映権
中国	China Merchants Bank (中国招商銀行)	クレジットカード
	McDonald's	マクドナルド景品

海外事業(北米・中南米)

北米

(単位:億円)



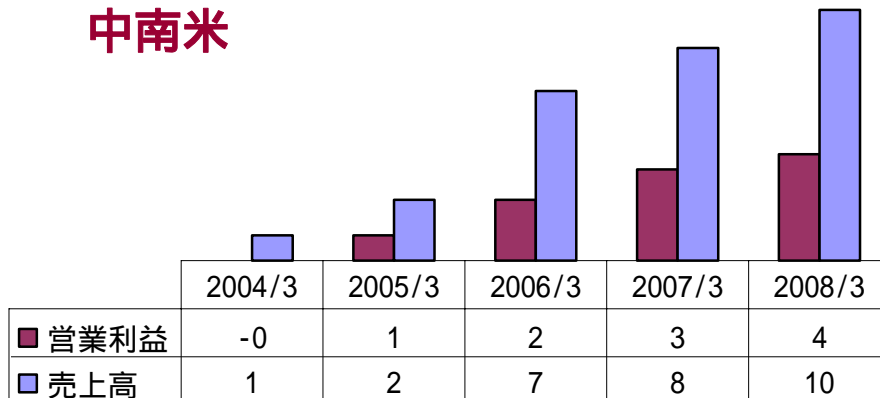
	2006/3	2007/3	2008/3
直営店	17	5	4
代理店直営店	18	31	28
店舗数計	35	36	32

主な取引先	アイテム
Evy	衣類
Marino Andriani LLC	電気製品
Age Group	寝巻き・下着類
NTD Apparel	衣類
F.A.B.	バッグ類
American Greetings	グリーティングカード・ラッピング用品

売上 前期比+4.3%、ライセンシー数 160社 (+20社)

中南米

(単位:億円)



	2006/3	2007/3	2008/3
卸売取引店舗数	63	60	48

42

◆ Hello Kitty no Teen Fashion 2007

ブラジルのファッションウィーク。
現地の新進デザイナーによるショー。



売上 前期比+3.6% ライセンシー数 65社 (+6社)

主な取引先	アイテム
GRENDENE S/A	Shoes
KRAFT FOODS BRASIL S.A.	Easter Eggs
CHOICE BAG COMERCIAL LTDA.	Bags / BackPack
CADERBRAS BICO INTERNACIONAL LTDA	Notebook
TEX COTTON INDUSTRIA DE CONFECÇOES LTDA	T-Shirts

海外：店舗状況

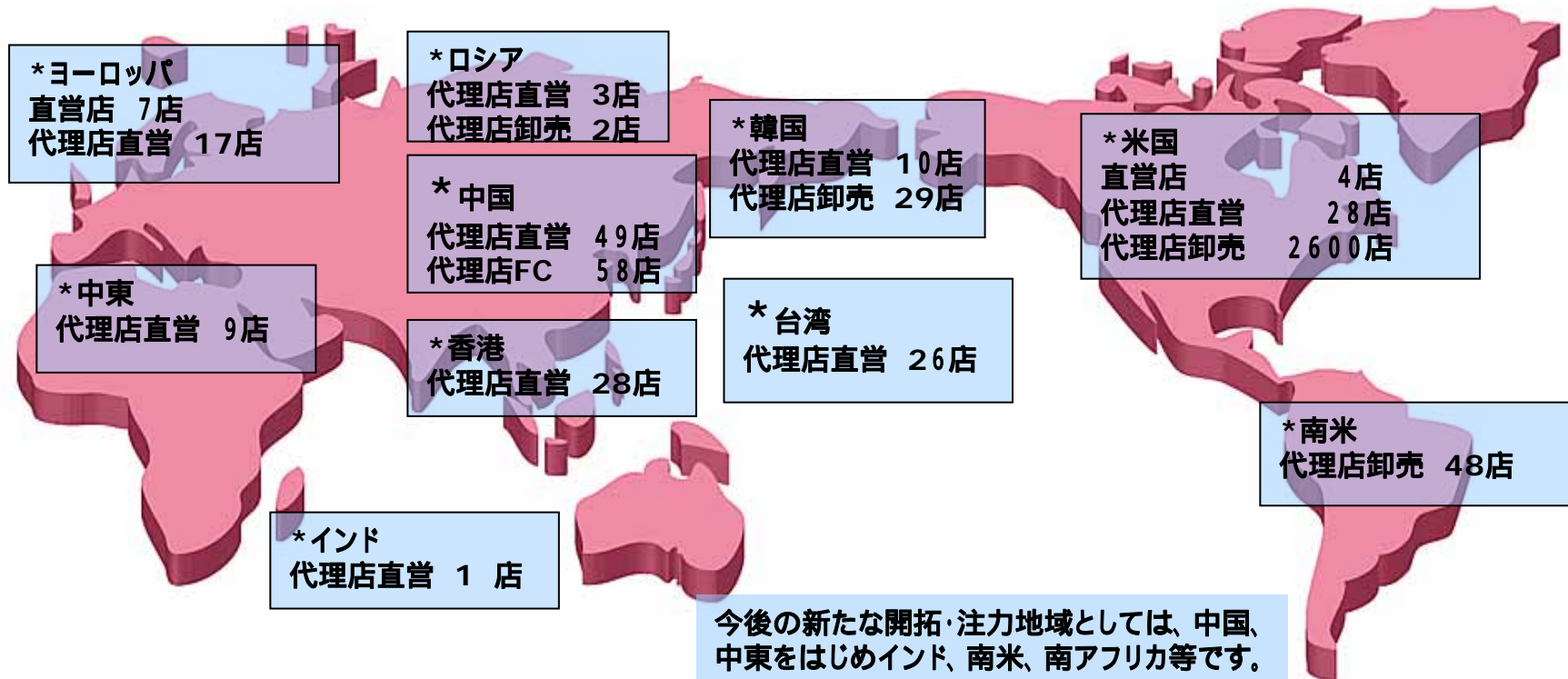
店舗数

	06/3末	07/3末	08/3末	増減
直営店	25	12	11	1
代理店直営	131	195	171	24
代理店卸売	3,585	2,588	2,737	149
計	3,741	2,795	2,919	124

当社及び代理店で把握可能な店舗数であり、この他に取扱店舗が多数あります。

代理店直営の減少は、代理店直営から代理卸先に一部地域で変更したことによりです。

Sawrio



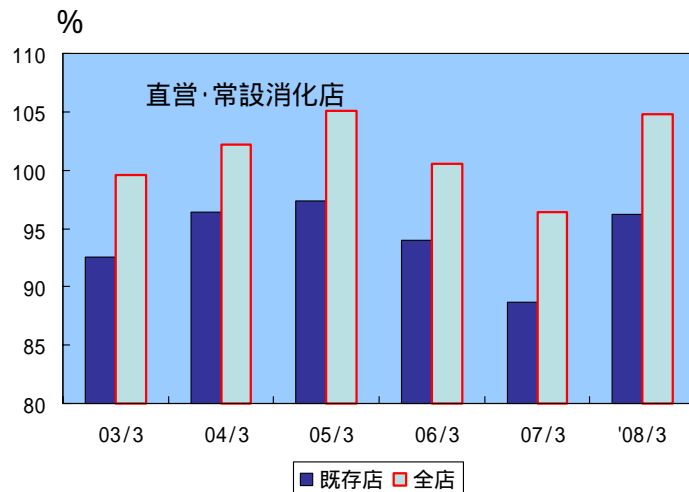
国内：店舗状況

店舗数

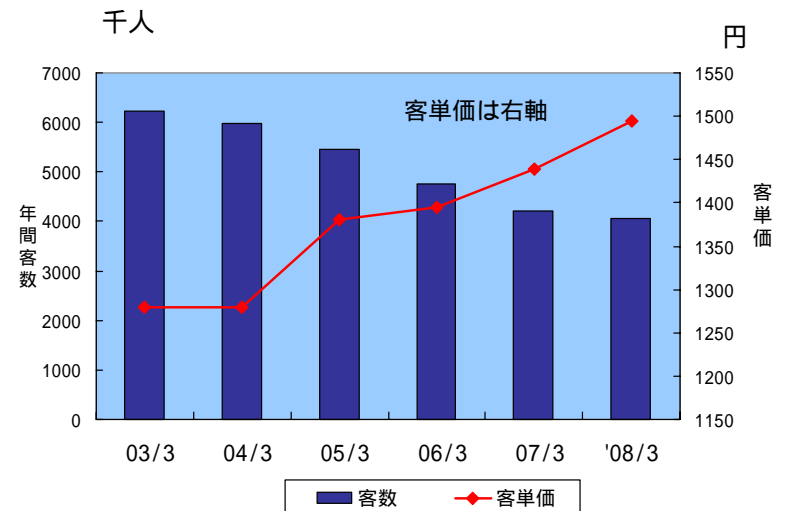
	08年3月	07年9月比
ギフトゲート(直営店)	147	0
百貨店(常設消化店)	124	+2
百貨店(買取店)	56	0
量販店	1,004	+3
専門店	85	0
合計	1,416	+5

注：前期より分類基準を変更のため、07年9月との比較。

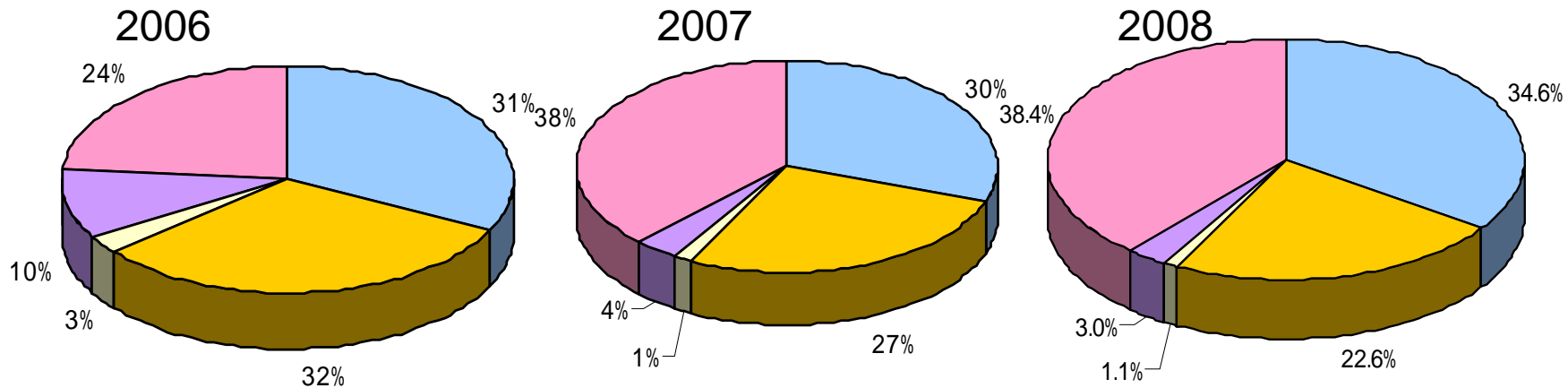
既存店店頭売上前年比の推移



直営店舗の客数・客単価の推移



株式の所有者別状況



	2006/3/31			2007/3/31			2008/3/31		
	株主数	持株数 (千株)	持株比率 (%)	株主数	持株数 (千株)	持株比率 (%)	株主数	持株数 (千株)	持株比率 (%)
個人その他 individuals and others	39,554	28,314	32.1%	39,462	26,705	30.3%	50,617	30,562	34.6%
金融機関 Financial institutions	55	28,000	31.8%	52	23,933	27.2%	42	19,990	22.6%
証券会社 Securities companies	61	2,555	2.9%	42	1,181	1.3%	39	991	1.1%
外国法人・外国人 Foreign companies and individuals	96	8,490	9.6%	112	3,263	3.7%	134	2,690	3.0%
その他の法人 Other corporations	330	20,789	23.6%	311	33,066	37.5%	310	33,915	38.4%
合計 Total	40,096	88,148	100.0%	39,979	88,148	100.0%	51,142	88,148	100.0%

個人株主数が大幅に増加、前期比28.2%増加。

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、

当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。